

様式第4号（第12条関係）

事業者行動報告書

令和5年6月6日

（宛先）

滋賀県知事

提出者

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）

滋賀県草津市笠山四丁目1番18号

氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）

株式会社ダイコーロジサービス

金子 圭一

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例（第21条第1項  
第22条第2項において準用する同条例第21条第1項）  
の規定に基づき、事業者行動報告書を作成したので、提出します。

事業者の氏名 （法人にあっては、名称 および代表者の氏名）	株式会社ダイコーロジサービス 代表取締役社長 金子 圭一
事業者の住所 （法人にあっては、主たる 事務所の所在地）	滋賀県草津市笠山四丁目1番18号

1 事業所の概要

事業所の名称	株式会社ダイコーロジサービス 馬場工場				
事業所の所在地	滋賀県草津市馬場町1060番地3号				
主たる事業	細分類番号	4	7	1	1 倉庫業(冷蔵倉庫業を除く)
該当する事業者の要件	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を 県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室 効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を 県内に有する事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意提出事業者				

2 計画期間および報告対象年度

計画期間	令和3 年度 ~ 令和4 年度
報告対象年度	令和4 年度

3 計画の実施状況

計画の実施状況	別添のとおり
---------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

標準様式第2号

(第1面)

1 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の実施状況等

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の実施状況

	取組項目	取組の内容	取組の実施状況
1	運用改善	空調室外機を「陰」にする	計画・検討中
2	運用改善	空調設備 室内外機のフィルター清掃	継続実施中
3	運用改善	温湿度管理による作業環境の改善	計画・検討中
4	設備導入	太陽光パネル設置	計画・検討中
5	設備導入	照明設備のLED化	令和3年度に実施
6			
7			
8			

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の実施状況

	温室効果ガスの種類	取組の内容	取組の実施状況
1			
2			
3			

(3) 上記の取組に係る目標の進捗に対する自己評価

<p><b>【目標】</b>                  基準年度(令和2年度)と比較して、計画終了時(令和4年度)に以下目標数値の達成を目指す。                  尚、令和3年度の報告は、途中経過報告とする。                  ①電力使用量:基準年度から 11,000kWh削減                  ②CO<sub>2</sub>排出量:基準年度から 3t-CO<sub>2</sub>削減</p> <p>※実績を目標と適切に対比させるため、計画期間中の温室効果ガス排出量の算定は、令和2年度(0.340kgCO<sub>2</sub>/kWh 関西電力調整前)の係数に固定して計算する。</p> <p><b>【結果】</b>                  ①電力使用量:60,296kWh削減(令和2年度:187,298kwh→令和3年度:127,002kwh)                  ②CO<sub>2</sub>排出量:20t-CO<sub>2</sub>削減(令和2年度:63t-CO<sub>2</sub>→令和3年度:43t-CO<sub>2</sub>)</p> <p><b>【評価】</b>                  電力使用量並びにCO<sub>2</sub>排出量共に計画時の目標を大幅に達成する事が出来た。これは既存蛍光灯をLED化した事による影響がかなり大きかったと考えられる。                  今年度で報告は終了となるが、残っている部分の蛍光灯のLED化や太陽光発電の設置などを社内で検討して、今後も省エネ化を図り、CO<sub>2</sub>排出量削減に取り組んでいこうと思う。</p>
---